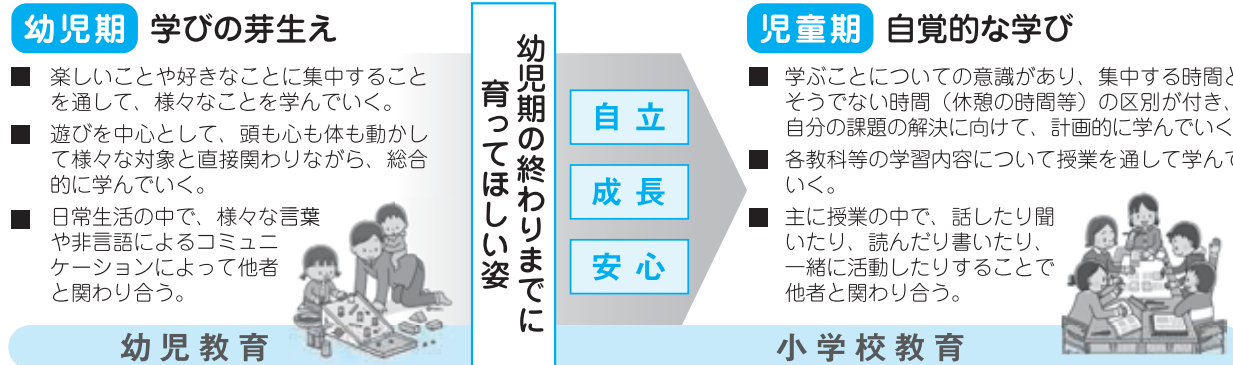


幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて

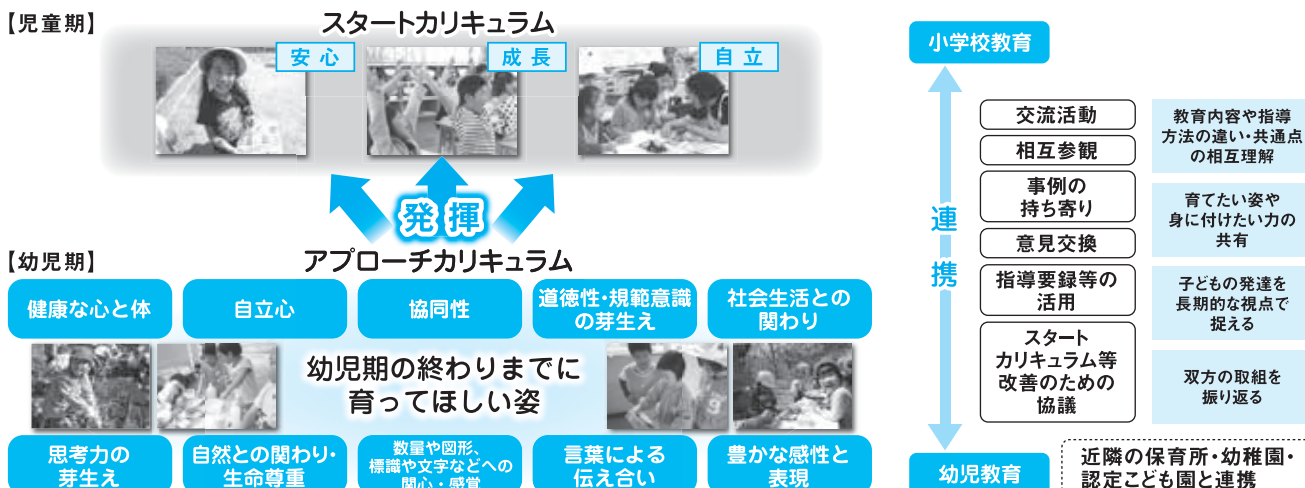
■ 「遊び」が育てる「学び」の未来

幼児期の自発的な遊びの中で育まれた、やり抜く力や協調性、自信などの「非認知的能力」は、変化する社会を生きていく上で重要な力です。幼児期の「遊びに没頭する中の育ちや学び」を小学校以降の「主体的・対話的で深い学び」へと円滑につなぐことが大切です。



■ 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、育ちと学びをつなぐ

保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の要領・指針や小学校学習指導要領で示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、幼児期の遊びや生活の中での育ちや学びを小学校へとつなぎ、子どもたちが安心して主体的に自己発揮し、新しい学校生活を創り出そうとする姿を実現していく必要があります。



■ 「幼保小の架け橋プログラム」の実施に向けて

未来を担う子どもに学びや生活の基盤を育み、持続可能な社会の創り手となることのできる力の基礎を育むため、幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児と1年生のカリキュラムを一体的に捉え、幼児教育・小学校教育関係者が連携してカリキュラムや教育方法の充実・改善にあたるなど、接続期の教育の質的向上が求められています。

「架け橋期」とは 5歳児～1年生の2年間(0～18歳の学びの連続性に配慮)

目指す方向性

- 「架け橋期のカリキュラム」の編成・実施
 幼保小の先生が協働し、共通の視点をもって検討し、編成・実施
 共通の視点の例： 期待する子ども像 遊びや学びのプロセス
 先生のかかわり 環境の構成 など
- 保育者と教員が対話を通して相互理解・実践を深める体制作り
 カリキュラム開発会議や保育者と教員の合同会議
 相互参観・体験等の設定

幼保小の架け橋プログラム
(文部科学省HP)



アプローチカリキュラム作成のポイント

■ 保育の工夫

遊びや生活を通して、協同的な学びが十分に培われるように、協同的な遊びや体験が充実するように配慮する。

■ 時間の工夫

見通しをもって生活しようとする子どもたちを支えるために、時計を見ながら時間を意識できるように配慮する。

■ 円滑な接続に向けて

- ・ 小学校見学や小学生との交流の機会を設ける。
- ・ 時間内に昼食を食べ終わる意識をもたせる。
- ・ 様々なトイレに慣れておく。
- ・ 道路を歩く際に、危険な場所の確認や道路の横断の練習をする。
- ・ 当番活動等で人前で話す活動を取り入れたり、手伝いをする事で感謝されたりする体験の機会を増やす。



■ 家庭との連携

基本的な生活習慣、生活リズム、食事のマナー、安全に過ごす生活の仕方（交通ルール等）など、保護者との連携を図りながら確認する。

「茨城県保幼小接続カリキュラム」より

(全ページは「家庭教育応援ナビ」からダウンロード可)



全職員で共通理解を！
幼児教育施設の先生と
相談しながら作成しましょう。

スタートカリキュラム作成のポイント(入学式から1週間)

第1週の日目標					
○ 学校という環境に慣れ、教師や友達と遊びや生活を楽しむ。 ○ 幼児期の体験を生かし、「できる」という気持ちを支えにして、学校生活に必要なきまりや約束を少しずつ覚えながら、安心感をもって活動や学習に取り組む。					
	4月6日(月)	4月7日(火)	4月8日(水)	4月9日(木)	4月10日(金)
		荷物の片付け	片付け・読み聞かせ ▲	片付け・校歌指導	片付け・校歌指導・朝の会
	学活	学活・国語	国語	学校行事	生活・国語
1	元気にあいさつ ・返事の仕方を学ぶ。	どうぞよろしく ・教室の使い方を学ぶ。 ・自分を知ってもらうとも友達のことを知る。	自分の名前をかこう ・正しい鉛筆の持ち方と書く姿勢を学ぶ。	大きくなったかな ・着替えの仕方を学ぶ。 ・並び方を知る。	友達をつくろう ・名刺を交換することで友達の大切さを知る。 ・友達の名前を知ったり、親しみをもったりする。
	学校行事	学活・生活	算数・図工	体育(学年)	算数
2	入学式	学校のことを知ろう ・トイレや手洗い場、靴箱の使い方を学ぶ。	なかまあつめ ・描いた作品が仲間分けできることを知る。	校庭をたんけんしよう ・遊具で遊ぶことを通して順番やきまりを守って遊べるようにする。	なかまあつめと数 ・仲間集めを通して、数字の書き方を学ぶ。
	学活	国語・図工	音楽(学年)	算数	音楽・国語(学年)
3	○○小の仲間入り ・担任の名前を知る。 ・友達を知る。	なかまづくりをしよう ・話の聞き方や友達の呼び方を学ぶ。 すきなもののいっぱい ・絵の描き方を学ぶ。	みんなであうあう ・友達と楽しく歌ったり手遊びをしたりすることで歌に親しむ。	なかまあつめ ・カードの絵やブロックを使って集合の意味を知る。	みんなであうあう ・知っている歌や手遊びを楽しむ。 ・読み聞かせを楽しむ。
		学活	生活	国語	生活・国語
4	11:30 下校	たのしいきゅうしよく ・給食着の着替え方や給食の配膳の仕方を学ぶ。	学校をたんけんしよう ・廊下の歩き方や特別教室の使い方を学ぶ。	どうぞよろしく ・ひらがなを学ぶ。 ・読み聞かせを楽しむ。	どうぞよろしく ・自分を知ってもらうとも友達のことを知る。 ・ひらがなを学ぶ。
		学活	生活	学活	図工
5		学校のことを知ろう ・下校の仕方を学ぶ。	学校のことを知ろう ・校歌を知る。	みんなの仕事 ・日直の仕事や朝の会・帰りの会のやり方を知る。	すきなもののいっぱい ・想像したことを表現しようとする。
下校	通常の下校時刻より早めに下校することもある。学年で下校班を編成し、職員に見守られながら下校する。学童保育などを利用する児童がいるので、家庭と連携を密にし、下校先等の確認を確実にする。				

● 今週の目標を設定する

スモールステップの目標を設定することで、段階的に学校生活に慣れていけるように考えます。

■ 時間割や学習活動を工夫する

子どもの実態に合わせて、例えば10～15分程度のモジュールで時間割を構成したり、体験的・操作的な活動を取り入れたりするような工夫が考えられます。

◆ 生活科を中心とした、総合的・関連的指導を意識する

子どもが自らの思いや願いの実現に向けた活動をゆったりとした時間の中で進めていけるようにします。各教科のねらいを関連付けて考え、学習活動を構成するようにします。

♥ 家庭との連携を図る

懇談会や学年だより、連絡帳などで、学校の様子を知らせたり、連絡を取ったりするなど連携を図ることで、保護者の安心感や信頼感につながるようにします。

▲ 安心して学べる環境を整える

見通しをもって活動できるような掲示物や、シンプルで分かりやすい教室環境を意識します。手遊びや読み聞かせなど幼児期に親しんできた活動を取り入れることで、安心感をもてるようにします。朝の活動、給食や清掃の支援など、担任以外の先生や上級生と関わることで、みんなに見守られていることを実感できるようにします。

★ 子どもの成長の姿や幼児期の経験を、学習活動や生活に生かす

子どもの成長の姿や、幼児期に親しんできた好きな歌、絵本、遊びやダンス、楽器や道具の使用など、活動の様子について事前に情報を収集し、学習や生活に取り入れるとよいでしょう。安心して活動や生活を楽しめるようにすることで、自分の力を発揮し、主体的に活動できるようにしていきます。

家庭教育応援ナビ「すくすく育て いばらきっ子」

茨城県教育委員会では、「家庭教育応援ナビ」を開設し、子育てに役立つマンガや動画をはじめ、家庭教育コラムや子育て相談Q&A、子育てアドバイスブックなど、ご自身の研修や保護者への情報提供に役立つコンテンツを掲載しています。

また、幼児教育関係研修情報や動画・資料・教材のコンテンツを随時更新し、幼児教育に携わる方々への情報提供に努めております。

保護者向けの資料やお便りの記事としてもお使いいただけます。ぜひ、ご活用ください。

応援ナビトップページ



「家庭教育応援ナビ」
で検索！

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/>



◆ コンテンツ紹介 ◆

- ①子育てに役立つマンガ・動画・資料
- ②子育て相談Q&A
- ③家庭教育コラム
- ④おすすめの本紹介
- ⑤子育てに関する相談窓口
- ⑥イベント・講座情報
- ⑦家庭教育支援資料モバイル版
- ⑧家庭教育支援資料PDF版
- ⑨子育てアドバイスブック外国語版
- ⑩家庭教育支援活動サークル・団体情報
- ⑪幼児教育関係研修情報
- ⑫研修資料・教材
- ⑬企業連携による教育力向上推進の取組
- ⑭ツイッター



研修関係コンテンツ

⑪ 幼児教育関係研修情報

○下記の課の主催する研修情報を一覧表から確認することができます。

- ・生涯学習課
- ・義務教育課
- ・子ども未来課



○研修名をクリックすると、開催要項や申込用紙を閲覧、ダウンロードできます。

⑫ 研修資料・教材

○左記の研修で使う動画や資料、保育や授業、園内・校内研修、家庭教育学級等で活用できる教材や資料を掲載しています。

- ▶ 「動画・資料」
 - ・研修や講演会の講義動画
- ▶ 「教材・資料」
 - ・茨城県保幼小接続カリキュラム
 - ・保幼小連携・接続実践事例集 等



【問合せ先】

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課
就学前教育・家庭教育推進室
TEL029-301-5132